

次期（第6次緑川森林計画区）の 森林計画についての検討方向

— 目 次 —

1. 現行計画の概要

- (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項
- (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項
- (3) 林産物の供給に関する事項
- (4) 国有林野の活用に関する事項
- (5) 国民の参加による森林の整備に関する事項

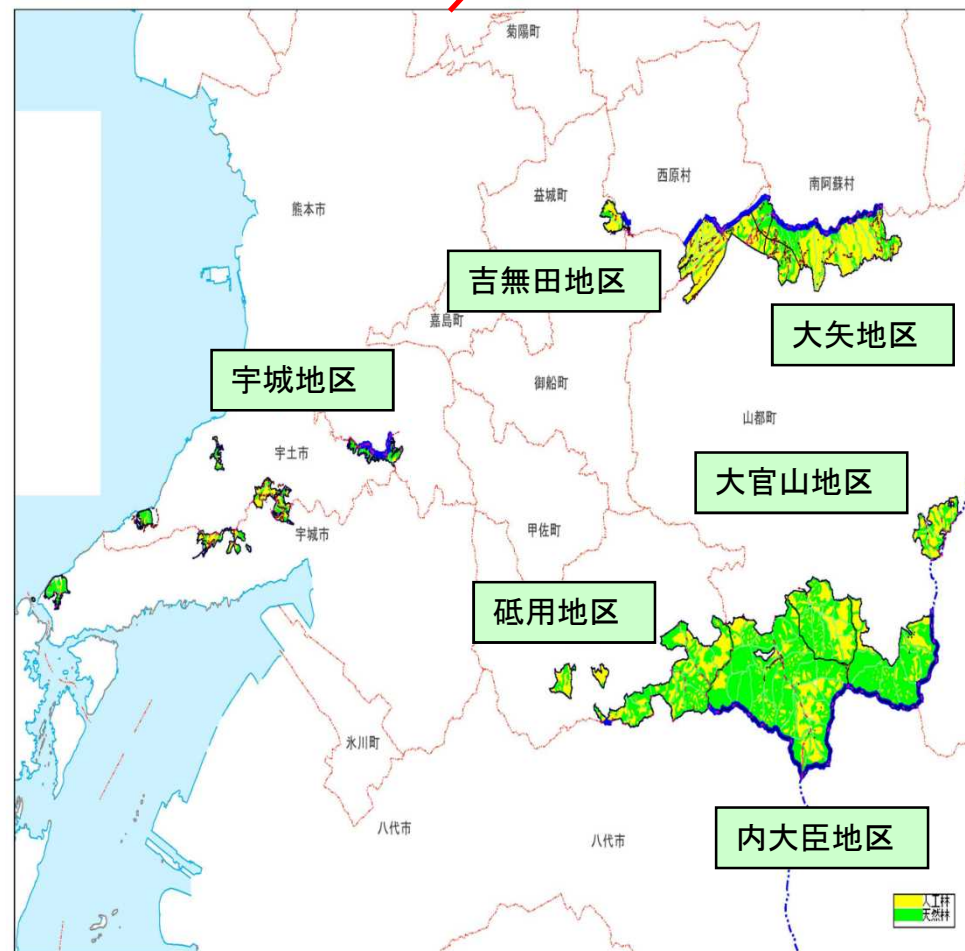
2. 次期計画の検討方向

熊本森林管理署

1. 現行計画の概要（平成31年4月1日～令和6年3月31日）

- ・ 緑川森林計画は、熊本県の中南部に位置し、宇土市、宇城市、山都町、美里町、甲佐町、御船町、益城町、嘉島町の2市6町からなり、流域の森林総面積は68,585haです。
- ・ 国有林面積は13,581ha、計画区内の全森林面積の20%にあたり、天然林が43%、人工林が54%（内、スギ63%、ヒノキ37%）を占めています。
- ・ 国有林の大部分は、緑川の源流域に位置し、宇城地区をはじめとする下流地域の水がめとして重要な役割を担っています。また、国見岳を主峰とする九州中央山地の稜線部に、生物群集保護林および国立公園が設定されており、多様で貴重な動植物の保護と、優れた自然環境を有する森林の保全など公益的機能の発揮が求められています。

緑川森林計画区

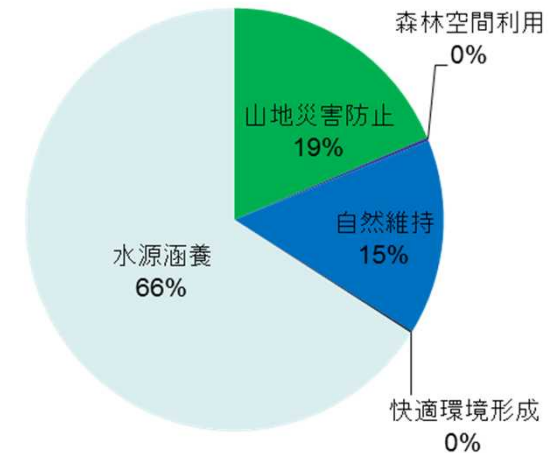


(1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

国有林野の管理経営に関する基本計画に即して、公益重視の管理経営を一層推進するため、5つの機能類型に区分し、それぞれの発揮すべき機能に応じて管理経営を行っています。

区分	機能	面積(ha)
山地災害防止 タイプ	土砂の流出・崩壊、落石等の山地災害による人命・施設の防備その他災害に強い国土基盤の形成に係る機能を重点的に発揮すべき森林	2,531
自然維持 タイプ	原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存等自然環境の保全に係る機能を重点的に発揮すべき森林	2,037
森林空間利用 タイプ	スポーツ又はレクリエーション、教育文化、休養等の活動の場及び優れた景観の提供に係る機能を重点的に発揮すべき森林	31
快適環境形成 タイプ	騒音の低減や大気の浄化、木陰の提供等による気象緩和等人間の居住環境を良好な状態に保全する機能を重点的に発揮すべき森林	18
水源涵養 タイプ	国民生活に欠かせない良質で豊かな水の提供に係る機能を重点的に発揮すべき森林	8,964

機能累型別
区分面積割合



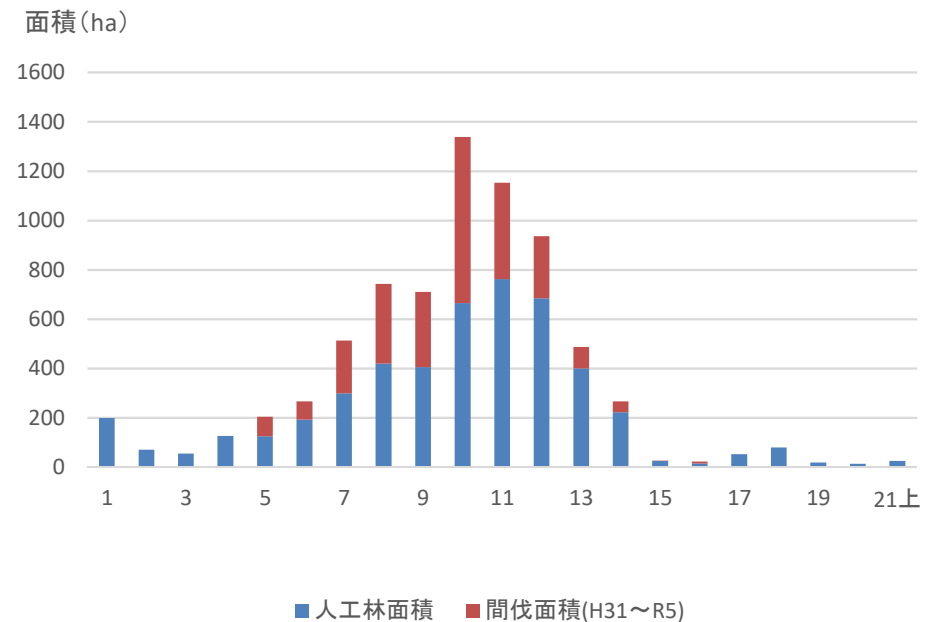
(1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

本計画区の人工林の面積は約7,313haで、16年生から60年生の人工林の面積は約4,594ha（人工林面積の63%）です。

また、現行計画（平成31年度～令和5年度）では間伐を約2,450ha計画しており、森林吸収源対策として間伐を推進しています。



列状間伐を導入した人工林



注：1 齢級は1～5年生を表します。

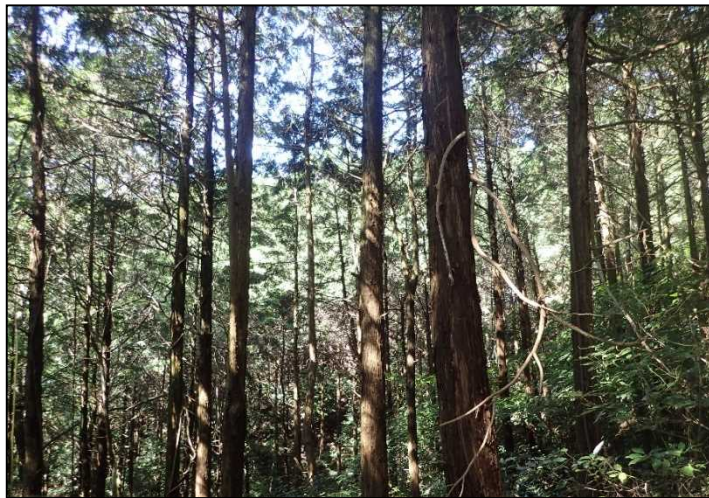
(2) 国有林野の維持及び保存に関する事項

本計画区には貴重な天然林等が多数存在しており、これらについては保護林を設定し、適切に保護・保全を図っています。

種 類	名 称	特 徴 等	面 積(ha)
①生物群集保護林	九州中央山地	九州の中央部分の熊本・宮崎県境に連なる九州山脈の脊梁一体に広がった位置にあり、植生は標高1,000m以上においてはブナを主体とする落葉広葉樹が生育し、標高1,000m以下にはウラジログシ、コジイを主とする常緑広葉樹が生育している。	1,810
②希少個体群保護林	雁俣山モミ等	美里町と八代市泉町界の雁俣山(標高1,315)周辺で、標高約1,000m付近に位置しており、主にモミ、ツガ、ブナを主体とする老齢の天然広葉樹林である。林内には、カタクリが自生し、4月の開花時期には登山者が多く訪れる。	70
③希少個体群保護林	吉無田スギ	熊本県御船町の東北部、二つ山(標高690m)の南方、八勢川の上流に位置し、林相はスギ、ヒノキ、サラワの人口林で、肥後藩の領地で水源造成のため、1815～1867年までに340万本を植林した記録があり現在も旧藩木の老齢木として歴史を刻んでいる。	12
④希少個体群保護林	内大臣モミ等	九州中央山地国定公園内の天主山(標高1,494m)西方、標高600～800mに位置し、林相上部はモミ、ツガが多く、下部にはモミ、ツガ、ケヤキ、アカガシ、ウラジログシ等(160年生以上)の優良な針広混交天然林で、中央にはアカマツと挿し穂によるスギが数本存在する。また、林内には小松内大臣重盛の霊をまつる小松神社がある。	35
⑤希少個体群保護林	内大臣ゴイシツバメシジミ	山都町の九州中央山地の国見岳(標高1,739m)北側の一角で標高600～800mの西側に面する急傾斜地に位置しており、林相はシイ、カシ類の暖帯林からブナ、ミズナラ等の冷温帯林までの天然林である。また、広葉樹大木に着生するシシンランの花とつぼみを摂食する国の天然記念物であるゴイシツバメシジミの繁殖地及び生息地である。	97

(2) 国有林野の維持及び保存に関する事項

本計画区の国有林野は、その大部分が緑川の源流域に位置し、水源かん養機能や保健文化機能等の公益的機能の高度発揮が求められることから、適切な保育、間伐を進めるとともに、生物多様性に配慮した広葉樹の植栽や伐期の延長による長伐期施業に取り組んでいます。間伐をはじめとした森林整備に積極的かつ着実に取り組むとともに、針広混交林化、複層林化、長伐期化などを通じて、多様で健全な森林の整備・保全を推進しています。



現状(人工林)



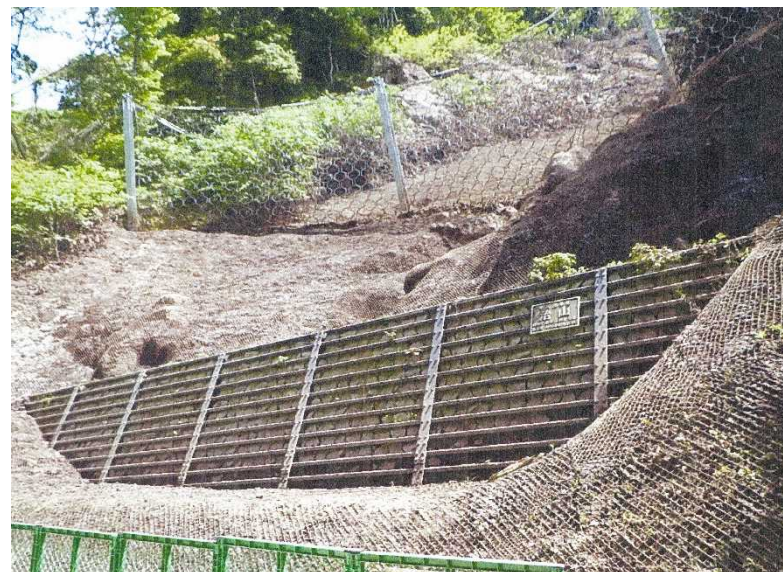
複層林化



長伐期化された森林

(2) 国有林野の維持及び保存に関する事項

安全・安心の確保に向けた効率的・効果的な治山対策に取り組んでいます。



熊本県上益城郡山都町の仮屋黒峯地区等をはじめとする流域内で発生した山地災害箇所等について、溪間工等による復旧工事を実施しました。

また、資材には間伐材等を積極的に使用し木材利用の推進に取り組むとともに、保全対象の保護に向けて、今後も実施していきます。

(2) 国有林野の維持及び保存に関する事項

希少野生動植物種の保全を行っています。



熊本県山都町の内大臣地区では、国の天然記念物のゴイシツバメシジミの生息地であることから保全活動を行っています。

野生鳥獣の被害対策を行っています。



シカの食害によるスギ・ヒノキ造林地の被害が多く見受けられることから、必要な個所においては、シカネットなどを設置するなど、被害防止対策を実施しています。

(3) 林産物の供給に関する事項

伐採、造林等の事業の実施の効率化を図りつつ、健全な森林を整備するとともに、木材の需要動向や木材産業の状況等を的確に把握しつつ、国有林材の安定的な供給を推進しています。



製材工場等の原材料となる木材や、これまで未利用であった低質材等を木質バイオマス資源として利用できるよう、安定的な供給を推進しています。



生産コストの削減を図るため、簡易で崩れにくい路網の整備を推進しています。

(4) 国有林野の活用に関する事項

優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林をレクリエーションの森として設定し、地域の方々に提供しています。

種類	名称	概要	面積(ha)
野外スポーツ 地域	向坂山	ブナを主体とした天然林であり、四季折々の自然美を持っている。また冬季は積雪が多く、愛好者にはスキー場として利用者が増大している。	0. 49
風景林	木原山	熊本県の中央部に位置し、熊本市、宇土市、宇城市にまたがり、優れた眺望に恵まれ頂上へは6つの登山コースがあり散策等の大衆的な利用がなされている。	24. 33
その他		レクリエーションの森施設敷	0. 59

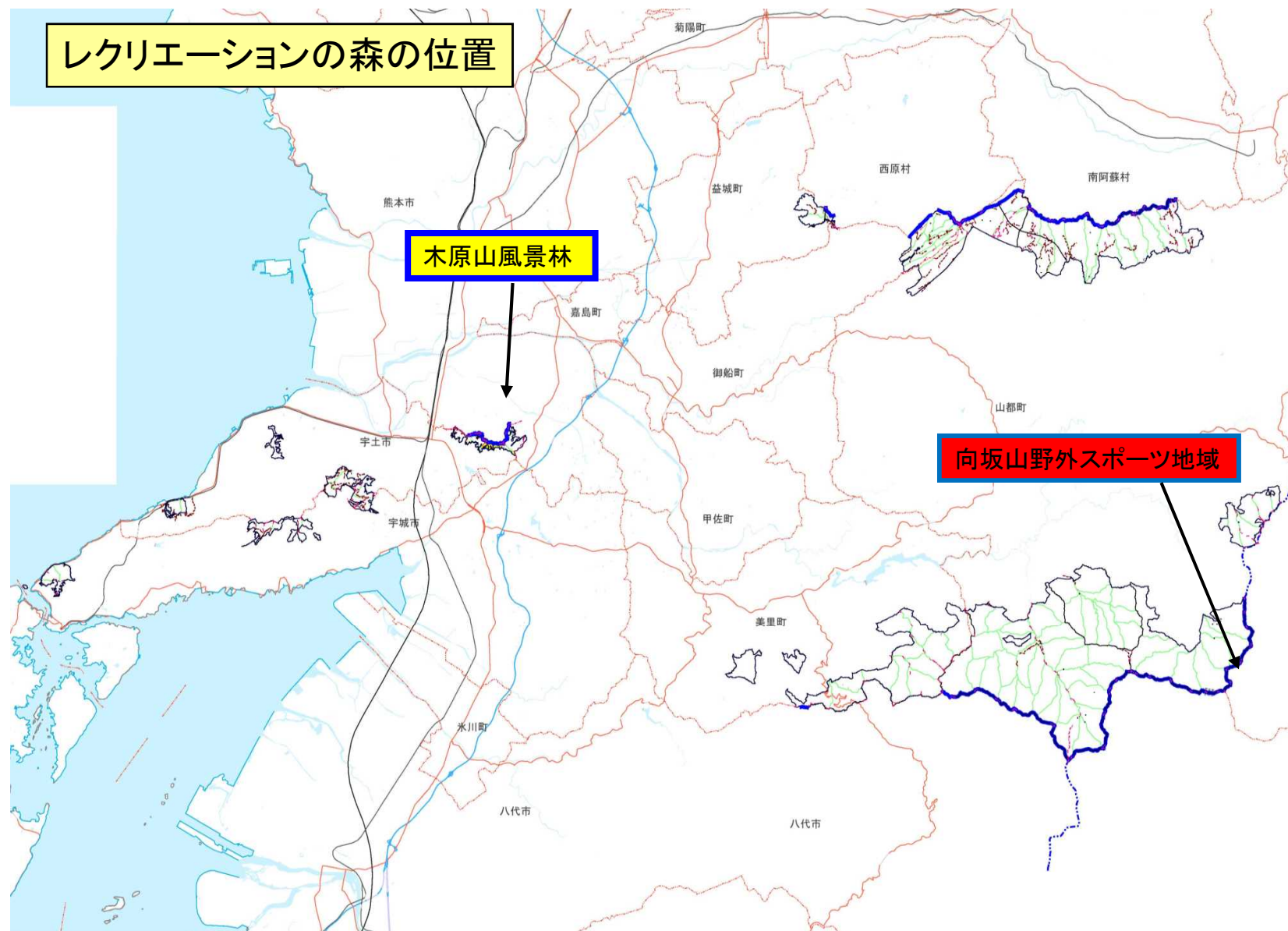


立岡自然公園から望む木原山風景林



展望所から八代海(不知火海)を望む

(4) 国有林野の活用に関する事項



(5) 国民の参加による森林の整備に関する事項

国有林野をフィールドとした国民参加の森林づくりを推進しています。



「遊々の森」協定により、森林環境教育の推進を目的とした体験活動等を行っています。



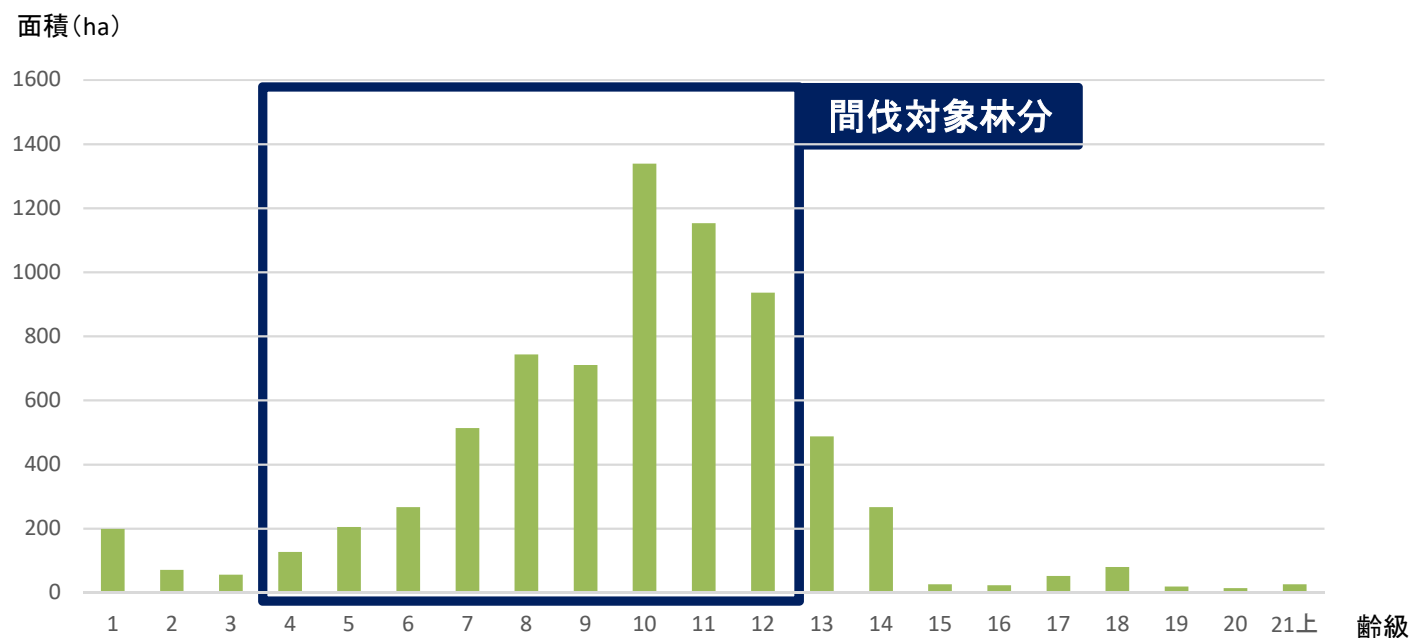
「社会貢献の森づくり」協定により、企業の計画による森林整備を行っています。

2 次期計画の検討方向

(1) 管理経営上の課題

- 本計画区の国有林野が有する水源かん養機能や保健文化機能等の公益的機能の発揮を高めていく必要があります。
- 次期計画においても間伐対象となる16年生から60年生の人工林の割合は82%と現行計画と同程度であり、健全な森林づくりのほか森林吸収源対策の上からも引き続き間伐を推進する必要があります。

人工林齢級構成



(1)管理経営上の課題

- ・ 将来的に均衡がとれた齢級構成に移行させることに配慮しつつ、主伐とその後の再造林を計画的に推進し、森林資源の循環利用を行うことにより、森林の有する多面的機能の持続的な発揮を図るとともに、森林吸収源対策にも貢献する必要があります。
- ・ 野生鳥獣による森林被害は、シカによる被害を中心に深刻化しており、野生鳥獣との共存に配慮した対策を適切に推進していく必要があります。
- ・ 本計画区には各種保護林やレクリエーションの森を設定しており、これらの国有林野を適切に管理していく必要があります。
- ・ 本計画区には、指定国内希少野生動植物種であるゴイシツバメシジミが生息することから、これの生息環境の保全に留意しつつ、国有林野を適切に管理していく必要があります。
- ・ 国民参加による森林づくりに関する問い合わせや相談が増加していることから、これらの要請に適切に応えていく必要があります。
- ・ 国産材の安定供給を実現するため、生産システムのコスト縮減と生産性向上を進める必要があります。
- ・ エネルギー原料としての利用等新たなニーズに応えるため、これまで利用してこなかった林地残材等の利用を進めていく必要があります。
- ・ 国民が安全・安心に暮らせる環境づくりに向けて、治山対策に取り組む必要があります。

(2) 計画内容

- ・ 公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を行うとの方針の下、多様で健全な森林の整備・保全を行うほか、森林吸収源対策として引き続き間伐を推進するとともに、将来的に均衡がとれた齢級構成に移行させることに配慮しつつ、主伐とその後の再造林を計画的に推進する方向です。
- ・ 野生鳥獣による森林被害について、地域と連携した防除活動を推進するとともに、野生鳥獣の生息環境となる針広混交林等へ誘導するなど、野生鳥獣との共存に配慮した対策を推進する方向です。
- ・ 貴重な植物種の保護を目的とする保護林及び自然の観察や森林浴などの利用を目的とするレクリエーションの森については、現状を維持する方向です。
- ・ 生物多様性の保全を推進する観点から、絶滅のおそれのあるゴイシツバメシジミが生息する箇所については生息や繁殖の環境に十分に配慮した森林施業、森林の保護・管理に努める方向です。
- ・ 社会貢献活動として森林づくりに参加・協力したいとする企業等の要請に応えるため、協定締結による国民参加による森林づくりを推進する方向です。
- ・ 生産システムのコスト縮減と生産性の向上を図るため、簡易で壊れにくい路網の整備を引き続き推進する方向です。
- ・ 林地保全、資源の有効活用等の観点から、林地残材等の有効利用に努める方向です。
- ・ 民有林と連携して効果的な治山事業の実施に取り組むとともに、地域住民と協働して災害を減らす対策を進める方向です。